



## 夏休み！木育木工教室

森を使った子育てと木育活動の魅力を伝えるため、根室市民の憩いの場となっている「根室市市民の森」をフィールドに、森林政策や削り馬を使ったグリーンウッドワークを楽しんでいただきました。

日時：平成30年8月4日  
 場所：根室市市民の森（根室市）  
 主催：根室市、北海道根室振興局森林室  
 共催：根室市林野振興対策協議会  
 協力：木育マスター-橋田千恵子（6期）



## 2018「木育・森づくりフェア」

木工作体験など木とふれあう場として、地域の関係者が連携し毎年開催しています。8回目となった今回も園児から高齢者まで幅広い層の来場者楽しんでいただきました。

日時：平成30年11月10日・11日  
 場所：イオンモール釧路昭和サンコート広場（釧路市）  
 主催：釧路町村会PT、くしろ森と緑の会、北海道森林管理局（根室西部森林管理署、釧路湿原森林ふれあい推進センター）、釧路総合振興局  
 協力：イオンモール釧路昭和、釧路市公園緑化協会、釧路市丹頂鶴自然公園、木育マスター-道東支部ほか



1.木の葉のスタンドグラス  
 2.トンカチ広場



## 原野のもりの木育ひろば

弟子屈町内のカラマツ私有林とその周りの木々を活用し、一年を通じて、子どもから大人までが楽しめる、心地のよい木育活動を実施しています。

主催：てしかが自然学校（木育マスター-萩原寛暢（1期））  
 協力：木育マスター-道東支部



- 1.平成29年7月2日、新緑、新緑ひろば。
- 2.平成29年7月8日、カラマツのウッドデッキ制作。
- 3.平成30年12月15日、大人の木育ひろば。

### お問い合わせ

てしかが自然学校  
 木育マスター-道東支部（事務局）  
 北海道川上郡弟子屈町弟子屈原野453-1  
 電話：090-6697-5734  
 代表：萩原寛暢（木育マスター-1期）  
 URL：http://blog.goo.ne.jp/teshikaga\_ns

「木育（もくいく）」とは？

「木育」は、平成16年3月に北海道で生まれた言葉です。

子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みで、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森のかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

平成16年度に「協働型政策検討システム推進事業」（検討テーマを公募し、選定されたテーマについて、政策検討から政策提言、施策の実施までを、道民と市町村職員、道職員によって組織されたプロジェクトチームで行う事業で、平成15年度から平成17年度まで実施した）の検討テーマに、「子どもの頃から木を使うことで森林と環境を育む心をはぐくむ」「木育」の推進が選ばれ、官民協働のプロジェクトチーム「木育推進プロジェクト」を立ち上げ、木育の推進について検討、平成17年3月に報告書「木育（もくいく）～木とふれあい、木に学び、木と生きる～」として理念や推進方法が取りまとめられました。



北海道における「木育」の展開

●木育の推進

北海道では、翌年（平成17年度）から木育推進のための様々な取り組みを行っています。「子ども未来の森林づくり推進事業」として「わくわく！木育ランド（子どもたち向けの「木の遊園地」）やワークショップ（大人向けの学習会的な講演会）」の開催、「赤ちゃん誕生記念植樹（乳幼児期から森林とふれ、親しむ機会をつくらします）」の実施、道内各市町村に「げんきの森」（森遊びの達人など、地域の大人たちと一緒に体験活動を行います）を設定してきました。

また、「木育」地域活動ネットワーク支援事業として、地域における「木育」活動、「学校での木育推進事業」として、教材の開発、モデル授業、普及啓発パンフレットの作成などを実施しました。

さらに、プロジェクトチームのメンバー有志を中心として任意団体「木育ファミリー」が発足、ホームページやメールマガジン「わくわく！木育通信」、パンフレット等による普及PR活動も実施してきました。

平成21年度には「まちじゃう木育プロジェクト推進事業」として、木育道具等普及システム検討会議（全6回）の開催、木育道具等モニタリング調査の実施、木育道具パッケージシステム（ホームページ上で紹介し、現在も希望者に配布しています）の作成を行いました。

平成23・24年度には「木育活動普及促進事業」として、木製道具導入施設に木育マイスターなどの木育指導者を派遣し、施設における自発的・継続的な取組となるよう、木育道具の活用、木工体験・森林観察体験等を組み合わせた木育活動を実施しました。

平成29年度からは、これまで木育マイスターを育成し、その木育マイスターを活用して実施してきた「木育推進事業」を拡充し、木育を幅広い年代や地域の人々が意欲を持って取り組める息の長い道民運動として展開するため、子育て支援や食育等と連携した木育の取組、教育と連携した木育の取組を進めています。

●木育マイスターの育成

平成21年度にテキスト「木育達人（マイスター）入門」を作成し、平成22年度より「木育」の理念を十分に理解し、民間における「木育」活動の企画立案や全体的なコーディネートができ、地域において指導的な役割を果たすことができる人材を育成するため「木育マイスター育成研修」を実施しています。

木育マイスター育成研修のカリキュラムは第1章「木育の理念」、第2章「木にふれ、木について学ぶ」、第3章「木と生きる～暮らしと産業」、第4章「木と生きる～人の成長と木の関係」、第5章「木育プログラムの伝え方」、第6章「木育プログラムの作り方」の全6章に分かれており、これらすべてのカリキュラムと実地研修を修了した人を北海道知事が「木育マイスター」として認定します。

令和元年度までに270名の木育マイスターが発見し、全道各地で活躍しています。

また、これから木育活動を進めていく方々に向けて、木育マイスターによるこれまでの木育活動を「木育事例集」として取りまとめ、ホームページ上で公開しています。

●「希望」を「きぼう」でプロジェクト

平成24年度より、道民の方々のいろいろなメッセージが寄せられた小さな「木棒＝きぼう」をたくさん入れた「きぼうのプール」が全道各地を巡回しています。

北海道では、この取組を発展させ、平成26年度から企業や団体に資材の提供について協力いただき、東日本大震災などで被災した方々へのメッセージを添えた「きぼうのプール」を被災地に寄贈する「希望」を「きぼう」でプロジェクト」を実施しています。

プロジェクト開始から6年目を迎え、全道各地で行われる木育教室などのイベントのほか、協賛企業のCSR活動の一環として社員による「きぼうづくり（きぼうへの応援メッセージの書き込み）」を実施し、これらの「きぼう」を集めて、12月に被災地へ「きぼうのプール」を寄贈させていただきました。【P4-5】

これまで寄贈した各施設において、道民の気持ちが届いた北海道産の木製道具として使用されています。

●森林室の取り組み

●教育との連携

平成28年3月30日に策定された「木育の推進に係る教育委員会と知事部局（水産林務部）の連携方針」に基づき、本庁（教育庁と水産林務部）及び出先機関（教育局と（総合）振興局森林室）単位で木育の推進を図るため、情報交換を行い、具体的な取組を協議する連携促進会議を開催しています。

具体的な取組として、初任段階教員（3年次）を対象とした木育に関する研修を、道内各地で実施したほか、平成30年度からは、中高生等への林業・

木材産業を中心とした地域産業の理解を促進するため、木育マイスターの専門分野を活かした「中高生等への林業・木材産業等の現場体験・実習」を実施しました。【P13、P14ほか】

●企業、団体等との連携

道庁総合振興局では、平成29年4月に函館市本町にオープンした無印良品シエスタハコダテと、同年12月9日に「木育」に関するタイアップ協定を締結しました。

店舗内の木育広場等を活用した定期的な木育ワークショップの実施や、木育マイスターの活動に対する支援・協力など、連携を強化して木育活動に取り組んでいます。【P20-21】

●子育て支援、食育との連携

木育、食育、子育て支援が連携して、総合的に普及・PRを図るため、多くの人が集まる商業施設などで木育イベントを実施しました。【P36ほか】

また、パートナー（父親）の育児への参加を促すため、生まれてきた子どもへのプレゼントとして木製品の製作と、育児への関わり方を伝える子育て教室を実施しました。【P32ほか】

●木育ファミリーの取り組み

平成17年4月に、木育推進プロジェクトチームの有志による民間の任意団体として発足した「木育ファミリー」は、その年の10月に「木育リビング」（メンバーが木育に関する講演などのアクティビティを実施）を開催し、これをきっかけに北海道と協働して木育普及活動を行うようになりました。

平成20年3月には、木育ファミリーが「第1回

木育全国ミーティングin北海道」を開催し、平成22年から「木育カフェ」（メンバーによる木育活動の紹介など）を開催、平成25年8月に「第3回木育全国ミーティングinはべつ」を開催し、全国各地で木育活動を行っている方々との交流を図りました。

また、森と人をつなげる木育「北のグリーンウッドワーク」では、使用する道具（削り馬）や「足踏みろくろ」を道産カラマツ材で作ったり、実際に伐ったばかりの生木を使ったグリーンウッドワーク体験で小物や家具を作ったりするなど、森林・木材の循環を体験できる木育活動として、力を入れて取り組んでいます。

今後の課題など

北海道では、平成28年3月の北海道森林づくり条例の改正により「木育の推進」を明記し、平成29年3月に改正された北海道森林づくり基本計画においても「木育の推進」を基本方向の1つとして、企業やNPOなどの民間、教育関係機関など多様な主体と連携した木育活動に加え、子育て世代や森林への関心の薄い層などへの木育活動を進めることとしています。

「木育」が道民に定着するまでには、まだまだ時間がかかると思われますが、息の長い道民運動として「木育」が定着していくよう、北海道としても、民間企業（団体）への働きかけや情報提供を行うなどして、普及に努めてまいります。

## 木育マスターの交流



▲【北海道木育フォーラム（第2回木育マスター全道ミーティング）】  
内容：全道から木育マスター24名、その他関係者、来賓等約35名が  
集い、日頃の木育活動を報告しあうなど交流を深めました。  
日時：平成29年11月18日～20日  
場所：川湯ふるさと館（ほか（弟子屈町））



▲【十勝木育マスターの会総会】  
内容：平成30年11月10日に十勝管内の木育マスターにより、十勝木育マ  
スターの会、通称「木育とから」が設立され、3月総会を行いました。  
日時：平成31年3月23日  
場所：帯広の森・はぐくむ（帯広市）

## 木育マスター育成研修

テキスト「木育達人入門」の内容を全て履修できるカリキュラムを前期・後期に分けて  
各2日間ずつ室内講義と実習で学び、学んだ内容を実践するためのOJTを実施。平成  
22年度の1期からスタートし、令和元(2019)年度の10期まで計270名を認定しています。



▲【平成30年度木育マスター育成研修】  
日時：平成30年9月2日・3日、  
平成30年10月28日・29日  
場所：稲穂館（滝川町）、  
イコロの森（苫小牧市）

▶【平成29年度木育マスター育成研修】  
日時：平成29年9月3日・4日、  
平成29年10月29日・30日  
場所：土構自然観察教育林（厚沢部町）、  
大沼山牧場（七飯町）



## 木育マスター

「木育」の理念を十分に理解し、木育活動の企画立案やコーディネートができ、指導的な役割を果たす人材（認定要領第1）、北海道では平成22(2010)年度から木育  
マスター育成研修を実施。そのすべてのカリキュラムを修了した受講生を「木育マスター」として認定しています（北海道知事による認定）。

### 北海道認定 木育マスター（令和2年3月1日現在）

阿部 哲之希 仁木町	奥藤 香里 札幌市	西野 望子 札幌市	英地 航幸 七飯町	宇佐美 彰雄 羽村町	上野 まゆみ 津別町	心部 千絵 大樹町
五十嵐 幸一 社説町	藤原 美紀子 札幌市	西尾 裕貴 厚岸町	奥山 夕香里 函館市	宇山 夕香里 函館市	渡藤 智恵 北見市	河川 久美子 厚岸町
石井 雅之 赤平市	藤原 一樹 札幌市	西野 望伸 東山町	小崎 若菜 函館市	大石 苑人 旭川市	渡辺 聖希 紋別市	高橋 結貴 香泉町
石谷 成規 札幌市	藤井 正人 札幌市	藤山 光也 札幌市	藤本 香 七飯町	大竹 輝太 紋別市	大流真 一真 小清水町	中野 久美 厚岸町
石橋 哲也 札幌市	藤川 哲一 札幌市	藤田 三知也 札幌市	藤久留 智江子 函館市	大野 真子 旭川市	藤元 博光 津別町	中野 正樹 厚岸町
市野 典佳 札幌市	藤原 真史 札幌市	早坂 典千代 東山町	菅本木 洋 七飯町	大村 竜二 旭川市	門田 真久 網走町	中村 祐一 厚岸町
今中 謙真 石狩市	藤原 祥史 北見市	藤島 雅人 旭川市	佐藤 晋典 函館市	菅野 雅人 旭川市	神山 彩乃 津別町	中村 結那 大樹町
今村 悠子 札幌市	佐藤 祥史 北見市	藤井 まゆみ 札幌市	澤村 邦夫 北見市	木村 道代 東川町	菊岡 空一 紋別市	船越 淳子 厚岸町
上原 拓海 厚岸町	佐藤 祥史 北見市	藤井 雅人 札幌市	澤村 敦 上ノ国町	小山 結之 旭川市	北山 智哉 釧路市	谷口 真一 厚岸町
藤原 悠 厚岸町	藤田 佳代子 ニセコ町	藤野 仁 北見市	藤原 めぐみ 旭川市	北原 めぐみ 旭川市	藤原 真樹 北見市	中野 早登 厚岸町
藤原 悠 厚岸町	七戸 千絵 札幌市	丹後 純 札幌市	丹後 純 札幌市	佐藤 秀徳 富良野市	作田 真輝 北見市	森 石花 津別町
大北 裕子 札幌市	足野 めぐみ 比内町	藤田 幸子 札幌市	藤田 幸子 札幌市	佐藤 博介 厚岸町	佐藤 茂 津別町	若松 真史 厚岸町
大久保 佳美 苫小牧市	足野 美希 函館市	松浦 彩一 江別市	松浦 彩一 江別市	佐野 美希 旭川市	高田 幸希 北見市	
大塚 優佳 札幌市	神尾 美佳 滝川町	松岡 悠佳 札幌市	谷本 美穂 長万部町	森田 彩世 東川町	高田 真一 北見市	石川 聖江 香泉町
大塚 唯心 釧路市	神尾 美希 厚岸町	松岡 悠佳 札幌市	菅原 洋平 北見市	菅原 洋平 北見市	内野 純人 北見市	渡辺 孝幸 中津川町
小笠原 誠 札幌市	鈴木 智 釧路市	水本 結華 東川町	水本 結華 東川町	富澤 結二 八雲町	仙石 真穂子 中富良野町	藤永 秀彦 北見市
小川 真由美 苫小牧市	鈴木 雅也 札幌市	渡 真紀 札幌市	渡 真紀 札幌市	中川 紗穂 函館市	津野 幸広 旭川市	中島 紀典 北見市
小島 謙平 札幌市	高田 芳久 函川市	渡川 多恵 北見市	渡川 多恵 北見市	丹羽 俊介 七飯町	中井 和之 上富良野町	高倉 真紀子 津別町
小山田 健 北見市	高木 貴繁 札幌市	富倉 弘之 札幌市	富倉 弘之 札幌市	丹羽 聖典 七飯町	内野 真穂子 旭川市	野田 真樹 北見市
柳原 久仁達 札幌市	夏野 亮也 札幌市	村上 智希 函館市	村上 智希 函館市	内野 智樹 七飯町	内島 弘幸 小樽市	藤本 大輝 津別町
柳川 貴紀 札幌市	高橋 悠希 札幌市	八木 一真 苫小牧市	八木 一真 苫小牧市	中島 祐輔 利尻富士町	中島 祐輔 利尻富士町	藤田 博典 厚岸町
桂 亮子 札幌市	高橋 智 北見市	山崎 幸夫 入里町	山崎 幸夫 入里町	其多 邦祐 津別町	其多 邦祐 津別町	中井 秋雄 網走市
加藤 望子 札幌市	高橋 智 北見市	山下 春都 札幌市	山下 春都 札幌市	藤田 結衣 七飯町	中村 結衣 旭川市	野村 香 網走市
安澤 翔治 厚岸町	竹田 光章 札幌市	山田 美知子 旭別町	山田 美知子 旭別町	結城 利尚 厚岸町	西中 まゆみ 旭川市	山田 利夫 北見市
藤次 和裕 厚岸町	多田 輝子 七ヶ丘町	藤田 洋 江別市	藤田 洋 江別市	藤 弘也 旭川市	藤 弘也 旭川市	山村 正志 津別町
山田 結 札幌市	田中 良 厚岸町	藤山 知江 札幌市	藤山 知江 札幌市	藤野 知有紀 占冠村	藤野 知有紀 占冠村	
神谷 結花 札幌市	田原 真貴 札幌市	渡辺 雅 厚岸町	渡辺 雅 厚岸町	水山 治史 森町	藤木 加奈子 東川町	有賀 繁 大樹町
川原 聖太 札幌市	玉村 結羽 札幌市	渡邊 穂子 北見市	渡邊 穂子 北見市	村上 笑斗 函館市	村田 あやの 旭川市	安波 理衣 大樹町
菊池 三典 札幌市	田村 公平 札幌市	渡邊 佳也 北見市	渡邊 佳也 北見市	村山 真子 厚岸町	村山 真子 厚岸町	小川 史生 上士幌町
北川 貴紀子 札幌市	辻 礼次郎 札幌市	藤原 孝太郎 函館市	藤原 孝太郎 函館市	日真 孝太郎 函館市	村林 博希 厚岸町	沖野 一生 大樹町
木村 雅代 札幌市	藤本 陽 札幌市	佐佐 智子 七飯町	佐佐 智子 七飯町	佐佐 智子 七飯町	山田 結貴 札幌市	小原 和弘 厚岸町
行天 結子 札幌市	坪江 和希 釧路市	秋田 正樹 七飯町	秋田 正樹 七飯町	吉岡 絵絵 七飯町	山田 悠基 旭川市	小原 仁幸 香泉町
渡藤 光裕 津別町	藤田 善利 厚岸町	石田 謙也 七飯町	石田 謙也 七飯町	横尾 隆一 七飯町	大庭 正枝 旭川市	小原 真一 厚岸町
二藤 美紀 七ヶ丘町	手塚 日南人 白老町	横尾 隆一 七飯町	横尾 隆一 七飯町	横尾 隆一 七飯町	清原 真子 旭川市	川内 知希 旭別町
二藤 美里 札幌市	宮下 雄哉 札幌市	藤田 洋 今和町	藤田 洋 今和町	藤田 洋 今和町	佐々木 和哉 北見市	佐々木 和哉 北見市
二藤 悠介 入り町	藤本 まゆみ 苫小牧市	越中 亮太 東川町	越中 亮太 東川町	藤田 賢治 東津軽町	曾田 謙典 厚岸町	平 潤輔 網走町
中村 真子 札幌市	中村 信哉 札幌市	小坂 秋之 札幌市	小坂 秋之 札幌市	藤田 淳子 東津軽町	曾田 淳子 東津軽町	藤田 淳子 東津軽町
見立 泰弘 札幌市	中村 智 北見市	藤原 博典 厚岸町	藤原 博典 厚岸町	藤原 博典 厚岸町	秋山 悠美子 網走市	日村 伸 厚岸町
佐藤 美穂子 石狩市	中村 結子 北見市	加藤 真子 七飯町	加藤 真子 七飯町	石尾 真太郎 厚岸町	伊藤 真子 厚岸町	伊藤 真子 厚岸町
小西 謙裕 千歳市	藤田 悠聖花 札幌市	川原 結二 七飯町	川原 結二 七飯町	前田 真子 旭川市	上野 真司 津別町	千葉 真子 厚岸町



## いつもそばに。～木と共に生きる～

木育事例集8 平成29・30年度の木育活動ご紹介  
2020年3月31日発行

【発行】北海道

【編集】北海道水産林務部森林環境局森林活用課  
〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西5丁目  
電話 011-204-5515

◎北海道が実施する木育イベント情報や実績、木育マイスターの活動紹介など、様々な木育情報を発信しています。

●北海道の「木育(もくいく)」ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/mokuiku/>



●Facebook「北海道のmokuiku(木育)」

<https://www.facebook.com/hokkaidomokuiku/>



※本文の内容に関するお問い合わせは、

北海道水産林務部森林環境局森林活用課までご連絡ください。

※本文記事・写真の無断転載、複写、加工、使用を禁じます。

本誌は、市町村等が森林環境(譲与)税<sup>※</sup>を活用して行う木育に関する取組の促進を目的として作成しています。

※森林環境(譲与)税の詳細は、以下の課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sr/sr/sr/kariyouzei/sy/sy/sy/sy/>

